

会津農林かわら版

福島県会津農林事務所

令和4年8月3日～4日に発生した豪雨災害により、被害に遭われた皆様に心から御見舞を申し上げます。県では、被災された方々が1日も早く元の生活を取り戻されるよう、被災箇所の復旧と被災者の生活再建に全力で取り組んでまいります。



豪雨災害による被害状況
(いずれも喜多方市、㊦水田、㊦林道)

会津管内の主な被害 (令和4年8月22日現在)

※調査は継続中で今後さらに増える可能性があります。

農地	199カ所、4億500万円
農業用施設	288カ所、8億5100万円
農作物	28.08トン、694万円
林道	46路線112カ所、3億5107万円
林地	12カ所、4億6500万円

【企画部】

令和4年8月31日(水)発行

目次

○ 会津農林事務所の取組紹介

- ・第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました
- ・「6次化相談会」「6次化商品ブラッシュアップ・販路拡大意向調査」を同時開催
- ・「フレッシュ農業講座」を開催しました
- ・関柴小学校で「生きもの調査」を開催しました
- ・永和小学校で「森林環境学習」を開催しました
- ・金山小学校で「奥会津金山赤カボチャ®」の出前授業を開催しました
- ・令和4年度「グリーンな栽培体系への転換サポート」事業直播現地研修会を開催しました
- ・令和4年度第1回両沼地域担い手育成総合支援協議会連携会議及び
令和4年度第1回両沼地方農地中間管理事業推進連絡調整会議を開催しました
- ・第2回おたねにんじん栽培研修会を開催しました
- ・古くなった地すべり防止施設を新しくしています

○ 頑張る農林漁業者等の取組紹介

- ・桐苗贈呈式が開催されました
- ・第1回緑の教室が開催されました
- ・湊小学校と大戸小学校が令和3年度全日本学校関係緑化コンクールで入選されました
- ・東京で合同トップセールスが行われ、会津ブランドをPRしました

○ 会津農林事務所からのお知らせ

- ・「奥会津道の駅6次化“いいもの”発見！スタンプラリー」を開催します
- ・「奥会津物産フェア」を開催します
- ・野生きのこの出荷・販売に御注意ください
- ・事務所 SNS を始めました



夏の磐梯山(磐梯町)

会津農林事務所の取組紹介



第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました 「6次化相談会」「6次化商品ブラッシュアップ・販路拡大意向調査」を同時開催



会津の6次化商品を PR

令和4年7月24日に会津若松市のアピオスペースで、第1回「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを開催しました。

同日開催された「会津の地産地消マルシェ」の会場内において、県産農林水産物等に関するアンケートに回答いただいた先着100名へ昭和村産のからむしが練り込まれた6次化商品「からむしうどん」をプレゼントしました。アンケートには積極的に回答いただき、「からむしうどん」も大変好評でした。また、GAP（農業生産工程管理）や有機農産物等のPRのためにパンフレットやチラシを配布しました。

併せて、同会場で「6次化相談会」を開催し、コロナ対策で規模を縮小したもの、農産物の加工や商品開発、販路拡大などについて、9件の相談を受け付けました。

同じく、同会場で、意欲ある7事業者に対し、専門家により、商品のブラッシュアップのための改善点をアドバイスしたり、首都圏での催事イベントへの出展へ誘導するための意向を聞き取り調査するなどの支援を行いました。

次回は10月に「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーンを予定しています。今後もイベント等を通して、県産農林水産物の安全性や美味しさの魅力を発信していきたいと思います。



6次化相談会の様子



専門家による商品の聞き取り調査の様子

【企画部】



「フレッシュ農業講座」を開催しました

令和4年7月8日、耶麻農業高校生を対象として、農業への興味・関心をより高めてもらうことを目的に、地域の先進的な農家やICT技術などスマート農業の事例を見学するフレッシュ農業講座を開催しました。

視察先の株式会社五十嵐ファームでは、繁殖管理及び優良な素牛^{もとうし}生産の労力負担軽減に取り組んでおり、生徒たちは遠隔による分娩監視カメラの映像を確認するなど、家畜の人工授精方法について学びました。



牛舎内視察(株式会社五十嵐ファーム)

また、会津農匠株式会社では、水稻、夏秋きゅうりを主体に、菌床しいたけなどの冬期の作物を取り入れることで周年雇用を実現した農業経営について説明していただきました。最後に、ヤママーアグリジャパン株式会社協力の下、産業用ドローンの操縦を体験しました。自ら操縦することで、ドローンの省力かつ時短効果をより実感できたと思います。

生徒はICT技術などを取り入れた新しい農業経営の実践実例に接し、刺激を受け、楽しく学んでいる様子でした。今回の講座が、就農を考えるきっかけになることを期待しています。



夏秋キュウリハウス内視察(会津農匠株式会社)



ドローン操縦体験
(ヤママーアグリジャパン株式会社)

【喜多方農業普及所】



関柴小学校で「生きもの調査」を開催しました



水路で昆虫などを採取する児童

令和4年7月14日、喜多方市立関柴小学校の3・5・6年生55名が、小学校の裏手にあるほ場においてアクアマリンふくしまの春本・城倉両講師の指導の下、生きもの調査に取り組みました。調査は当所職員と会津北部土地改良区職員がサポートしながら、普段は足を踏み入れることない田んぼの水路で行われました。

児童は長靴に水が入るのも気にせず水路を探り、友達と協力して生き物を追い込んだり待ち受けていたりしながら、夢中になってドジョウやヤゴ、ホタルの幼虫などを捕まえていました。シマヘビに遭遇し驚いている児童もいました。

講師の春本氏の説明を聞いて、児童から「日本で魚の種類はどれ位あるの。」「シマヘビにかまれるとどうなるの。」などの質問や、「水路に入って探すのは楽しかった。」「生き物が生存できるように自然を大切にしたい。」などの意見が出されました。また、

「田んぼの水はどこから来てどこに行くのか。」の質問に対する会津北部土地改良区職員からの説明をとて熱心に聞いていました。自分達を取り巻く豊かな環境や、農村環境を支える人間の営みの大切さを感じていたようでした。



児童に説明する講師
(⓪城倉氏、⓫春本氏)

【農村整備部】



永和小学校で「森林環境学習」を開催しました

令和4年7月1日に会津若松市立永和小学校において、4・5年生を対象とした森林環境学習を行いました。

当所職員が「森林の働きと林業」と題して、森林が有する水源かん養機能や山地災害防止機能等の重要な役割や、林業という仕事が森林機能を維持するために大切な仕事であることを説明しました。



森林環境学習の様子

また、森林の豊かな恵みについて体験してもらうため、講師にお招きした農事組合法人会津きのこ工房の杉原氏から「菌床栽培によるシイタケとキクラゲの育て方」について実物を前に説明していただきました。児童は初めて見る菌床と栽培きのこに目を輝かせながら、講師の説明に熱心に聞き入っていました。

児童はこれからの約3ヶ月間、菌床きのこの水やりや温度管理といった生育観察を行うこととしており、今後の栽培体験を通じて理解を深めることが期待されます。

【森林林業部】



金山小学校で「奥会津金山赤カボチャ[®]」の出前授業を開催しました

令和4年7月19日に金山町立金山小学校の3～6年生の児童を対象とし、総合的な学習の時間のテーマ学習として金山町の特産品である「奥会津金山赤カボチャ[®]」についての出前授業を行いました。

今年度は3・4年生が中心となって6月に「奥会津金山赤カボチャ[®]」の苗を校内の菜園に定植し、空中栽培（パイプハウスのパイプにつるを這わせて、つるから実をぶら下げて栽培する方法）をしています。当初は、菜園でカボチャの観察等をした上で教室での授業をする予定でしたが、あいにくの雨で教室での説明のみ行いました。

授業では、資料に基づき、これから行う栽培管理技術や発生する病害虫について説明したり、赤カボチャの模型を使って特長を説明したりしました。

児童からは「カボチャを育てていくのに、色々な作業があることを知ることができた」などの感想が聞かれ、「奥会津金山赤カボチャ[®]」について興味関心を持ってもらえたようでした。

次回の出前授業は収穫の頃に行う予定です。



出前授業の様子

※「奥会津金山赤カボチャ」は地域登録商標です。

◆金山町立金山小学校ブログ

https://kaneyama.fcs.ed.jp/blogs/blog_entries/view/18/83428a1d995a09b17ffbb42edf784e40?frame_id=46

◆金山町立金山小学校だより「こぶし」第5号(令和4年7月20日発行)

<https://kaneyama.fcs.ed.jp/wysiwyg/file/download/11/13420>

【会津坂下農業普及所金山普及所】



令和4年度「グリーンな栽培体系への転換サポート」事業 直播現地研修会を開催しました

令和4年7月6日、会津坂下町現地ほ場と同町金上コミュニティセンターで、「令和4年度『グリーンな栽培体系への転換サポート』事業による直播現地研修会～直播の栽培技術について学ぶ～」を会津坂下町と共催し、生産者15名を含む27名が参加しました。

本事業は国の「みどりの食料システム戦略推進交付金（グリーンな栽培体系への転換サポート）」を活用したもので、会津坂下町、JA、農業機械メーカーと連携しながら、「代掻き同時浅層土中播種」「乾田直播」「ドローンばらまき播種」の各水稻栽培の省力化技術と環境負荷軽減技術を取り入れた実証ほを会津坂下町内に設置し、直播栽培技術及び除草法等について調査を続けています。



直播現地研修会の様子

研修会では、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構から研究者を講師に迎え、3箇所の現地試験ほ場を巡回しながら、今回活用した水稻直播栽培技術を紹介するとともに、課題解決を図るための検討会を開催し、普及拡大に資する栽培技術のマニュアル化に向けた検討を行いました。

引き続き関係機関と連携を進め、水稻の省力化技術と環境負荷軽減技術の地域導入へ向け支援を行ってまいります。

【会津坂下農業普及所】



令和4年度第1回両沼地域担い手育成総合支援協議会連携会議及び 令和4年度第1回両沼地方農地中間管理事業推進連絡調整会議を開催しました

令和4年7月26日、農業総合センター会津地域研究所 研修室において、令和4年度第1回両沼地域担い手育成総合支援協議会連携会議及び令和4年度第1回両沼地方農地中間管理事業推進連絡調整会議を開催し、構成員22名が出席しました。

本会議は、会津坂下農業普及所管内の関係町村、農業委員会、JA、土地改良区や農地バンク（公益財団法人福島県農業振興公社）、当所が構成員となり、認定農業者や新規就農者などの担い手への支援や、効率的な農地利用のための農地バンク（基盤整備含む）に関する連携強化を図るために実施するものです。

会議では、来年度から実施される「人・農地など関連施策の見直し」についての情報共有や、就農希望・新規就農者等への対応方針の共有、新規就農者関連事業の紹介、秋作業の農作業安全に関する周知強化、農地バンクの実績・基盤整備事業に関する情報提供が行われました。

引き続き本会議をとおして関係機関との連携強化を図りながら、担い手等への各種支援を進めてまいります。

【会津坂下農業普及所】



第2回おたねにんじん栽培研修会を開催しました



座学の様子



1年生株のほ場見学の様子

会津地方の特用作物であるおたねにんじん（会津人蔘）は、栽培に年数がかかり、地力を高める土づくりが必要であることに加え、使用可能な農薬が少ないなどの理由により栽培が難しく、生産がなかなか安定しません。そこで、基本的な栽培管理を学ぶことを目的に、令和4年7月25日に第2回おたねにんじん栽培研修会を開催しました。

当日は栽培経験の浅い生産者など24名が参加し、当所職員や農業総合センター会津地域研究所長浜副主任研究員から有機物を活用した土づくりによるほ場の準備や病害対策について講義を行いました。また、会津若松市門田町のベテラン農家のほ場において、生育状況や毎日のように行っている手取り除草の様子、緑肥による土づくりについて実際に見せていただきました。参加者は、日頃抱えている疑問点など積極的に質問していました。

研修会は年4回を予定しており、次回は10月頃に播種や移植、収穫をテーマに行う予定です。

【農業振興普及部・喜多方農業普及所・会津坂下農業普及所】



古くなった地すべり防止施設を新しくしています

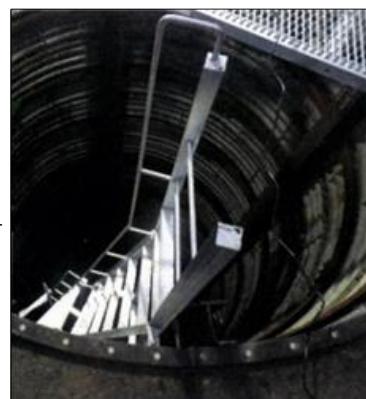
地すべりとは、大雨や融雪などによる地下水の上昇で土地が滑ったり移動することを言います。地すべりが発生した地域は「地すべり防止区域」として農林水産大臣により指定され、農村地域の安全を守り持続的な農業を行えるよう、地下水を下げたり、のりめん法面を抑える施設を設置するなどの対策が行われます。

福島県の農村地域における「地すべり防止区域」は全部で41地区あり、内29地区が会津地方にあります。

（農林水産省農村振興局が所管する農村地域の地すべりの他に、国土交通省や林野庁で指定される地すべりもあります。）

当管内の「地すべり防止区域」の大部分は30年以上前に指定されており、地すべり防止施設の中には施設の設置から60年以上が経過し、機能が低下もしくは劣化しているものもあるため、修理や新しくすることで施設の機能を回復させる取組を行っています。

地すべり防止施設の更新状況



㊤ 集水井
天蓋更新

㊦ 集水井
階段更新

【農村整備部】

頑張る農林漁業者等の取組紹介



桐苗贈呈式が開催されました

令和4年6月20日に会津農林高校から会津里山森林資源育成研究会へ桐苗550本が贈呈されました。

贈呈された幼苗は、森林環境科の生徒が学校の温室を利用して3月頃に種まきを行い、ロックウールを培地として大切に仕上げたもので、今後研究会の会員らがポットに移植し、秋頃に会津地域の各地に出荷・植栽されます。

種から育てるこの育苗方法は「桐玉植苗^{きりたまうえなえ}」と呼ばれ、成木の根から苗を作る従来の方法に比べて病気に強く、冬場の獣害にも遭いにくいという特徴があり、福島県林業研究センターが技術開発しました。この技術を生産者4者で組織する会津里山森林資源育成研究会が継承し、減少の一途をたどる会津桐の資源回復に取り組んでいます。

当日の様子はテレビ局や新聞各社にも取り上げられました。この取組みは2年目を迎えました。今後も会津地方の伝統的な特産物である桐の生産振興のため、研究会の活動を支援していきたいと思えます。



桐苗贈呈式の様子

【森林林業部】



第1回緑の教室が開催されました

令和4年7月14日に会津流域林業活性化センター主催による「緑の教室」が会津坂下町八幡コミュニティセンターにおいて開催されました。各市町村や林業事業者の新たな担当者等を対象に森林・林業の基礎知識や基本技術習得のための研修を年3回程度計画しており、初回研修では当所森林林業部長が講師を務め、「会津の森林・林業をよくするための基礎知識」と題して講義を行いました。

当日は26名の参加があり、森林の役割や種類、利活用等の幅広い知識、福島県や会津地域の森林・林業に関する統計や推移、特徴等について、皆さん熱心に聴講していました。

講義の最後には、業務経験や講義を踏まえ、会津地方の森林・林業の課題や解決方法を考える時間が設けられ、参加者から自分の担当業務において取り組むべき課題等が発表されました。

当所では、今後も会津流域林業活性化センターと連携し、わかりやすく充実した内容の研修開催に努めてまいります。



講義の様子

【森林林業部】



湊小学校と大戸小学校が 令和3年度全日本学校関係緑化コンクールで入選されました

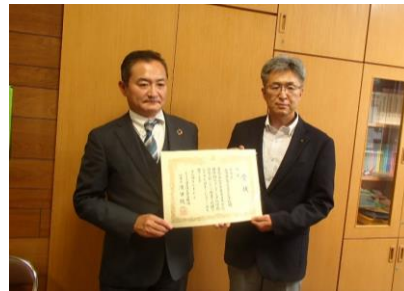
このたび、令和3年度全日本学校関係緑化コンクールにおいて、会津若松市立湊小学校が学校林等活動の部で、同じく会津若松市立大戸小学校が学校環境緑化の部でそれぞれ入選を果たし、当所森林林業部長から表彰状を伝達しました。

湊小学校は学校が所有する林の中で、専門家指導の下、児童が自ら除伐活動を行い、伐り出した木を使って工作をしたり、森林と水のはたらきについて学んだりしています。大戸小学校は校内の緑化に力を入れて取り組んでおり、様々な樹木や色とりどりの花に囲まれた素晴らしい環境を創出しています。休み時間には児童が花壇の草むしりを自発的に行っているという話も伺いました。どちらの学校も保護者や地域のボランティアの方々の協力を得ながら活動を続けており、校内だけでなく地域にも緑化活動の輪が広がっています。

これまでの取組が評価されたことで、児童も大変喜んでおり、意欲が高まっているようです。今後も活動を継続していただき、更なるレベルアップに期待しています。



会津若松市立湊小学校
「学校林等活動の部」入選



会津若松市立大戸小学校
「学校環境緑化の部」入選

【森林林業部】



東京で合同トップセールスが行われ、会津ブランドをPRしました

JA会津よつばと会津17市町村からなる会津夏まつり実行委員会が、7月28、29日の両日、風評被害払拭と会津産農畜産物の認知向上や販売拡大などのため東京・有楽町駅前広場などで合同トップセールスを開催しました。JA会津よつば組合長、17市町村長等が参加しました。

会津夏まつり「会津へ行こう」と題して実施されたイベントでは、有楽町駅前広場及びアンテナショップ「日本橋ふくしま館『ミデッテ』」を会場に会津産の農産物及び加工品の特設販売を行うとともに、会津の市町村長らが会津ブランドをPRしました。また、豊洲市場では青果物、大田市場では花きについて市場関係者との販売対策会議を行い、会津産農産物の価格の安定や小売店における売り場の確保などを要望しました。さらに、早朝の豊洲市場では市場関係者に向けて青果物のトップセールスを行い、アスパラガスやきゅうり、トマトなどを展示してPRしました。



有楽町駅前広場におけるPR



豊洲市場での買参人向けPR

【企画部】

会津農林事務所からのお知らせ



「奥会津道の駅6次化“いいもの”発見！スタンプラリー」を開催します

奥会津地域の道の駅において、6次化商品（地域の農林水産物を活用した加工品）を購入してスタンプを集めると抽選でプレゼントが当たるキャンペーンを開催します！
ぜひ、奥会津のおいしい“いいもの”を見つけてください！

日時 令和4年9月27日（火）～11月30日（水）

場所 奥会津地域の道の駅8カ所

（道の駅会津柳津（柳津町）、道の駅尾瀬街道みしま宿（三島町）、道の駅奥会津かねやま（金山町）、道の駅からむし織の里しょうわ（昭和村）、道の駅たじま（南会津町）、道の駅番屋（南会津町）、道の駅きらら289（南会津町）、道の駅尾瀬檜枝岐（檜枝岐村））

内容 キャンペーン対象の道の駅で、6次化商品を購入するともらえるスタンプを2駅分集めてご応募ください。抽選で40名様に、2,500円相当の特産品詰め合わせをプレゼントします！

主催 あいづ“まるごと”ネット



【企画部】



「奥会津物産フェア」を開催します

イオン2店舗で「奥会津物産フェア」を開催します！奥会津の美味しいものを味わえるチャンスですので、近くにお住まいの方はぜひお立ち寄りください。

in いわき イオンいわき店1階催事場（いわき市平字三倉68-1）

令和4年10月15日（土）10時～18時

16日（日）9時～17時

in 福島 イオン福島店1階催事場（福島市南矢野目西荒田50-17）

令和4年10月22日（土）10時～18時

23日（日）9時～17時

内容

- ・生産者及び事業者等による農林水産物・6次化商品の対面販売
- ・会津地域の農林水産物や観光、グリーンツーリズムのPR
- ・「おいしい ふくしま いただきます！」キャンペーン（いわきのみ）
- ・只見線利用促進PR



【企画部】

注意

野生きのこの出荷・販売に御注意ください

野生きのこが発生するシーズンとなりましたが、各市町村で下記の表のように、出荷が制限されている野生きのこがあります。

	ナメコ	ムキタケ	マイタケ	クリタケ	マツタケ	左記5つ以外の野生きのこ
会津若松市	×	○	×	○	下記基準による	×
喜多方市	×	×	×	×		×
北塩原村	×	×	×	×		×
西会津町	○	○	○	○		×
磐梯町	×	×	×	×		×
猪苗代町	×	×	×	×		×
会津坂下町	×	×	×	×		×
柳津町	×	×	○	×		×
三島町	×	×	○	×		×
昭和村	○	○	○	○		×
会津美里町	○	○	×	×		×

※ ×・・・出荷制限がかかっている野生きのこです。

※ 湯川村、金山町の野生きのこは出荷制限がかかっておりません。

なお、マツタケは県が定める所定の検査・出荷管理に基づき、非破壊式放射能測定装置によるスクリーニング検査を受け、基準値を下回っていることが確認されたものだけが出荷することができます。マツタケの検査は事前に台帳への登録が必要のため、当所へご相談ください。

野生きのこの出荷・販売や宿泊施設等での提供について、以下の事項をお守りいただくようお願いします。

出荷制限等品目について遵守いただく事項

- 1 制限が解除されるまで出荷・販売はできません。
- 2 自主検査等で基準値以下でも出荷・販売はできません。
- 3 加工品の原料としても使用できません。
- 4 食堂や宿泊施設等で調理してお客様に提供することもできません。
- 5 フリマアプリ等のインターネットによる通信販売、無人販売所で販売することもできません。
- 6 他人への無償譲渡もできません（出荷・販売に含まれます）。

出荷制限等のない品目について

- 1 毎年、採取時（出荷前）に市町村毎、品目毎にモニタリング検査を行っておりますが、出荷・販売される際にはご協力願います。
- 2 モニタリング検査は、各市町村が窓口となっており、県が検査いたします。
- 3 モニタリング検査で安全が確認された上で、出荷・販売をお願いします。
- 4 出荷・販売する際には、市町村名による産地の表示をお願いします。

※最新の出荷制限等の情報は、次の HP で確認できます。

◆福島県内のものは、福島県林業振興課 HP <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36055c/>

◆福島県外の場合は、厚生労働省 HP https://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html

【森林林業部】



事務所 SNS を始めました

このたび、事務所 Twitter・Instagram が始動しました！会津地方の農林産物やイベントについてはもちろん、業務内容など、さまざまな情報を投稿していきたいと思っておりますので、フォローよろしくお願いします。

Twitter



@aizu_nourin

Instagram



AIZU_NOURIN

このアイコンが目印



福島県
会津農林事務所

検索 



県産農林水産物の魅力発信の取組の一環として、約 1400 人いる農林水産部職員が、それぞれ自由な発想で企画・制作する農林水産部公式 YouTube チャンネル「1400 のネタばらし」がスタートしました。当事務所職員が制作した動画も多数ございますので、ぜひご覧ください！



YouTube で 福島県農林水産部 検索 

【企画部】

最近の投稿内容

動画更新のお知らせや地元の美味しいお店紹介も！



かすみの教室



動画の紹介



地元のお店

【ご意見・お問合せ】

福島県会津農林事務所企画部地域農林企画課
 〒965-8501
 福島県会津若松市追手町7番5号(会津若松合同庁舎2階)
 ☎ (0242)29-5369 FAX (0242)29-5389
 E-mail: kikaku.af04@pref.fukushima.lg.jp

